

## 社会福祉法人あすか会 地域連携推進会議 議事録（要約）

「障害者支援施設あすかの家」及び「ちゃのきのいえ」を見学後、ちゃのき cafe で会議を行う。

日時: 2025 年 3 月 17 日（月） 14:00～14:32

場所: 社会福祉法人あすか会 ちゃのき cafe

出席者:

- ① 藤江弘（利用者代表）
- ② 坂本明日香（地域の関係者）
- ③ 苗倉直美（地域の関係者）
- ④ 鳥羽将文（太田郵便局 局長）
- ⑤ 三輪高久（富士ガード株式会社 代表取締役）
- ⑥ 森澤佑介（太子町生活福祉部 社会福祉学科）
- ⑦ 岡本功（社会福祉法人あすか会 統括施設長）

記録者: 岡本功

### 議題 1: 施設の入浴設備と職員負担について

**\*\*概要:\*\*** 入浴設備の利便性向上と職員負担の軽減を目的に現状の改善点を検討。

**\*\*討議内容:\*\***

- あすかの家及びちゃのきのいえの浴室が個室になっている。大浴場の方が利便性が高いが、現在は個別対応が求められるためそうになっている。しかし職員の負担が大きい。
- 利用者の入浴の待ち時間が長く、利用者にとって不便ではないか
- 職員の配置基準は満たしているが、分割運営による負担増が課題。

**\*\*決定事項:\*\***

- 大浴場の導入について調査を進める。
- 職員の負担を軽減するための配置見直しを検討。

## 議題 2: グループホームの運営と支援の課題

**\*\*概要:\*\*** グループホームの運営方針や支援の課題について意見交換。

**\*\*討議内容:\*\***

- グループホームの掃除業務に対する利用者の抵抗感の有無を確認。
- 職員の業務負担が大きいため、パート雇用の可能性を検討。
- 地域との連携を強化し、理解促進を進める。

**\*\*決定事項:\*\***

- パート雇用の可否を検討。
- 地域住民への情報発信を強化し、施設の理解を深める。

## 議題 3: 障害者の就労支援について

**\*\*概要:\*\*** 障害者の働く場の確保と、適切な支援のあり方について議論。

**\*\*討議内容:\*\***

- B 型作業所では実際に労働支援ができていないケースが多い。
- A 型作業所も利益追求型の運営が増え、実質的な支援になっていない。
- 最低賃金を保障する形での障害者雇用の可能性を検討。

**\*\*決定事項:\*\***

- B 型・A 型の運営課題を踏まえ、新しい就労モデルを模索する。
- 施設として本当の意味での就労支援を目指し、具体策を検討する。

## 議題 4: 地域連携とイベント開催

**\*\*概要:\*\*** 地域社会との交流を強化し、イベント運営をより活発にするための施策を議論。

**\*\*討議内容:\*\***

- 地域との交流を深めるために、ヨガ・書道・ダンスなどの外部講師を活用。
- 地域住民向けのイベントを継続的に開催し、施設の認知度向上を図る。
- 子供会との連携を深め、地域の子供たちに開かれた施設とする。

**\*\*決定事項:\*\***

- 地域イベントの企画を強化し、施設を地域に開放する。
- 外部講師を増やし、多様なプログラムを提供する。

### **議題 5: 8050 問題と親なき後支援**

**\*\*概要:\*\*** 障害者の高齢化に伴い、8050 問題（親が 80 代、子が 50 代）への対応策を検討。

**\*\*討議内容:\*\***

- 親なき後の支援体制について、福祉制度の枠組みを超えた地域支援を検討。
- 兄弟支援の重要性を認識し、勉強会の開催を予定。
- 成年後見制度の活用について正しい情報提供が必要。

**\*\*決定事項:\*\***

- 兄弟支援・親なき後の勉強会を実施。
- 成年後見制度の正しい知識を広めるため、保護者会を開催。

### **その他**

- 障害者雇用の場としての農業の可能性を検討。
- 空き家や耕作放棄地の活用について、地域と連携して模索。

### **次回会議の予定**

**\*\*日時:\*\*** (次回の会議日程を設定)

**\*\*場所:\*\*** 社会福祉法人あすか会

**\*\*議題:\*\*** 障害者就労支援の具体策、地域イベントの計画

**\*\*以上**